

第2期はままつ産業イノベーション構想の策定について（最終報告）

1 報告事項

はままつ産業イノベーション構想は平成23年度に策定し、目標年次の10年が経過することから、現構想を改訂し、第2期はままつ産業イノベーション構想の策定を進めていました。

このたび、第2期構想がまとまりましたので、報告いたします。

2 資料

- ・第2期はままつ産業イノベーション構想
- ・第2期はままつ産業イノベーション構想（ダイジェスト版）

3 構想の位置づけ

本市の最上位計画である総合計画に基づく個別計画であるとともに、本市産業の持続的な発展に向けた「イノベーション創出のための産業ビジョン」となるものです。

4 構想の概要

- [背景] ・新型コロナウイルスによる社会変容“ニューノーマル（新しい生活様式）”
・デジタル技術の進展及び“カーボンニュートラル”により加速する電動化

[計画期間] 令和4年度～令和8年度（5年間）

※10年後の成長を見据え、5年間の計画を策定

[目標] 産業イノベーション都市・はままつ

[基本方針] 成長市場・新産業の創出

① 7つの成長分野への取り組みを重点支援

- 次世代輸送用機器 ○健康・医療 ○新農業
- 環境・エネルギー ○光・電子 ○デジタル
- ロボティクス【新規】

② 地域の「稼ぐ力」の向上支援

[基本戦略] ①オープン・イノベーションの推進

- ②企業力の向上支援
- ③スタートアップ支援
- ④企業集積支援（誘致・立地・創業）
- ⑤市場創出支援

5 構想のポイント

(1) 第2期はままつ産業イノベーション構想 P.7

[イノベーション創出の概念図]

- ① 課題解決による価値創出に転換
- ② “ロボティクス”を成長分野に独立
- ③ 3つの分野は“成長に必要な技術”としても位置づけ、地域基盤技術との融合による価値創出
- ④ 顧客がモノを介して 達成したいコトの実現やイノベーションを誘発するサービスにも着目

(2) 第2期はままつ産業イノベーション構想 P.11

[支援施策の体系整理]

Point 1 イノベーション創出に向けた基盤固めの支援 [担い手 (地域企業)]

Point 2 連携先となる新たな担い手の誘致・成長支援 [新たな担い手]

Point 3 マーケットイン型の新規事業創出の機会創出支援 [仕組み]

Point 4 国内外の市場開拓支援 [販路]

6 計画策定の経過

・第1回策定検討会議	令和3年2月5日
・地域企業実態調査 (アンケート・ヒアリング)	令和3年2月26日～5月31日
・第2回策定検討会議	令和3年8月4日
・環境経済委員会 [中間報告]	令和3年8月24日
・第3回策定検討会議	令和3年9月8日
・令和4年度当初予算要求に反映	令和3年10月～
・環境経済委員会 [最終報告]	令和3年11月2日

■ 策定検討会議メンバー (産学官金の関係機関・企業)

浜松商工会議所、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、静岡大学、浜松磐田信用金庫、成長7分野に関連する地域企業6社、ベンチャー企業、有識者 (以上、14名)